

Title	中支考古學調査班松本班報告：(一)南京の調査
Sub Title	
Author	松本, 信廣(Matsumoto, Nobuhiro) 保坂, 三郎(Hosaka, Saburo) 西岡, 秀雄(Nishioka, Hideo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1938
Jtitle	史学 Vol.17, No.2 (1938. 11) ,p.179(325)- 181(327)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報 支那學術調査團考古學班報告
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19381100-0179">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19381100-0179</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

豫め本班は地理的にも、種類に於ても廣範圍に互る考古學的視察を目標とし、一ヶ所の調査に捉はれることなく、大勢を洞察し、斯學の將來に資せんと欲せり。その意味に於て若干の矚目せる標本、寫眞、拓本を採集或は購入して持ち歸れるも、地域を中支より北支に及ぼし、比較的廣き地域を踏査するに至れり。その結果各地に十分なる時日を有せざりし爲、割愛せる所も多きは止むを得ざる所なり。併し乍ら時期恰も徐州作戰の末期に當り、漢口作戰の開始以前たりし爲、踏査地方は概ね平靜にして障害を受くること少く、加ふるに軍當局の理解と援助とにより暑氣激しく、又兩期に當り、最惡の氣候の中にありしもよく所期の目的を達成し得たりと信ず。

又各地踏査の間に於て左の如き事業をなしたり。

一、南京に在りては南京〇〇〇〇宣撫班の依頼により知識の不足より破壊を免れしめんが爲各名所、舊蹟に建つべき揭示の原稿を起草、手交せり。

一、同じく南京に於て松本班と連名にて明故宮東長安門破壊工事の中止方を軍當局に懇請し、その湮滅を免れしめたり。

一、五月二十八日蕪湖自治委員會に於て同地宣撫班長の請により、支那人幹部に對して日支兩國間の文化交渉に就き講演をなし、宣撫工作多大の効果を收めたりと云ふ。

一、六月一日南京明故宮に於て同所に駐屯せる〇部隊將士に對し明故宮の概略に就き講演を行ひたり。

## 一、慰問

出征軍人の慰問としては、各地に於て所在部隊を訪問慰問せるは勿論、列車内、我は踏査中に邂逅せる軍人に對し、出來得る限り、慰問に努力せり。その主なるもの、及び本塾關係者を擧ぐれば次の如し。

一、上海に於ては數回に互り、〇部隊本部を慰問せり。

一、五月十六日上海に於て〇〇部隊を慰問せり。

一、南京に在りては數回に互り〇〇兵站本部を訪れ、慰問せり。

一、五月二十八日蕪湖に於て〇〇部隊經理部を慰問せり。

一、五月二十八日灣沚鎮に於て〇〇部隊の〇〇部隊本部を慰問せり。

一、六月十日杭州に於て〇〇部隊本部を慰問せり。

一、六月二十七日北京に於て〇〇部隊本隊を慰問せり。

一、七月五日大同に於て〇〇兵團本部を慰問せり。

一、七月五日雲崗鎮に於て〇〇部隊〇〇隊の有川少尉以下を慰問せり。

本塾關係者としては

一、五月十六日上海に於て本塾教員西谷謙堂少尉を慰問せり。

一、五月二十二日南京に於て塾員山岸少尉を慰問せり。

一、五月二十八日灣沚鎮に於て塾員山岸少尉を慰問せり。

一、六月二十一日濟南に於て塾員菅野信一軍醫少尉鈴木三郎見習士官を慰問せり。

## 中支考古學調査班松本班報告

## (一) 南京の調査

松本信廣

保坂三郎

西岡秀雄

慶應義塾大學支那學術調査團中支考古學班松本班は昭和十三年五月十八日より六月二日まで上海自然科學研究所と協力し、南京に於ける國立中央研究院歷史語言研究所、陶器試驗所、故宮古物保存所の三箇所に於ける考古學的標本の接收整理に從事し大體左の結果に到達せり。

### 一、國立中央研究院歷史語言研究所

本所は支那に於ける考古、言語、人類、民族等の諸學の研究の中心として國民政府が力を注ぎ、支那の最高學術機關として重きをなせるものなるが予等の五月十八日參觀せる時は北極閣なる同研究室の各室は支那軍ついで我軍の宿營所となれる爲め内部は混亂して手のつけ様なき亂雜状態なりき、爾來約二週日其の清掃及び整理に從事せる結果大體左の如きこと判明せり。

第一階の左翼は考古學研究室にて山東城子崖、月照兩城、河南安陽附近、安徽壽縣等より發掘せる土器標本を收む。其の隣室は董作賓の研究室なりし如く同氏の甲骨文字に關する手稿日記其他散亂せるを一括して本箱中に收めたり。

第二階の左翼の二室も考古學の研究室にて中に本研究所が開設以來發掘せる河南安陽殷墟發見の遺物を主として包藏す。主なる

ものは土器片、甲骨片、骨鏃、骨器、穴あきたる子安貝、貝器、裝飾石片等にて例の殷代文字ある龜版、牛骨は極く小許を除き之を他の重要遺物と共に全部所員が持ち去れり。また特異のものとしては殷代青銅利器の破損せるもの、銅鏃小許、鐵鏡、鐵鈇、石杵の如きものを殘せるに過ぎず、また殷墟より近年發見せる大理石製虎の坐像模型の二個を殘せり、第三階の左端は防音裝置ある言語學研究室なるも機械類は全て之を持ち去れり、同右端は人類學の研究室にて中に約三百三十個の支那人頭骨を分類保存す。其の中に殷墟發見唐代頭骨を多く含む。其の外下頸骨百四十四例、四肢骨多數あり、第四階の右端は民族學の研究室にて中にシベリア赫哲族を主とする民俗資料約二百五十點其の側室に臺灣の土俗品三十點餘を藏す、なほ隣室に本研究所の報告及び出版書のストックを藏せり。

要するに本研究所は極めて設備完全にして且つ貴重なる標本を藏し之を將來散逸せざる様保存することは極めて肝要なり。なほ將來充分なる經費をかけ未整理の標本を分類し、また同時に支那内地に於ける發掘を繼續し、支那人の業績を遙かに超越する研究をなし、世界の學界に邦人學者の優越を示すことは極めて緊要なりと信ず。

### 二、陶器試驗所

本所は爆彈を受けて屋根の一部を破壊せられ、試驗室は殆ど見る影も無き屋内に包藏せられたる木箱約四百六十箱及び菰包みの石類約三十個は何れも貴重なる標本にて之を歴史語言研究所一階

の右翼及び背面の倉庫中に移せり、其の中前者の一半は殷墟發掘未整理品を含み何れも他日専門家が之を開き内容の整理研究を要するものなり、他の一半は北京の歴史博物院より移し之を將來中山門附近に設立すべき中央博物院に陳列する豫定なりしものにて極めて貴重なるものを藏す、其の大部分の箱は前者同様土民に掠奪せられ、南京泥棒市場にて賣買せられつゝあるも殘存せるものなほ多し、殊に山西省潞安より持來れる六朝石佛の大なるもの、河北省景教寺より持ち來れるネストリウス教石刻二個及び古代の大砲などあり。

### 三、故宮古物保存所

此處の貴重品は殆んど持ち去られ、土器類は完品なく、たゞ古瓦類、大なる石刻類を殘せり、其の中持ち運び得るものを研究室裏倉庫の左翼に移せるが其の中重要なものは西天善世禪師斑的達公塔銘(日本沙門釋中巽書)、甘家巷より移せる梁蕭秀石柱の天祿石頂等なり。

遺品は主として明代のもの多く南京の歴史を知るに貴重なるものなり。なほ本保存所は明の故宮に位置し、附近は明の宮殿址と歴史上重要な遺跡なり。軍にて航空機の着陸に不便なりとて附近の西長安門を俘虜を使用して破壊中なりしをもつて取敢へず上海自然科學研究所長新城氏及び柴田氏と連名にて其の保存方を請願し置きたり。

## (二) 杭州の調査

彙報

松本信廣  
西岡秀雄

### 一、西湖博物館

昭和十三年六月十五日慶應義塾大學文學部學術調查團中支考古班は杭州憲兵隊立會の本に西湖博物館浙江古代室の整理調査を行ひたり。

同室陳列品點數左の如し

- 一、杭州古蕩發掘石器 約二十六個
- 二、杭縣第二區(良渚鎮)發掘石器 約二十七個
- 三、同 土器及び其破片 約九十七個

内約 ほど完全なるもの

稍大なる破片 約四十七個

小破片 約三十八個

四、唐宋時代の越窯破片 約二十六片

五、南宋時代の官窯磁片 約六十五片

六、宋代龍泉窯磁片 約十六片

同室陳列品中ごく一部分は喪失せるものゝ如きも(例へば杭縣出土玉器片及び完全なる土器若干)他の大部分は殘存し、學術研究上重要なものを含む。今後とも嚴重なる保管を切望す。

なほ吾々は六月廿三日再度憲兵隊の立會の本に同博物館歴史文化部を調査せり。同部は約四間に八間半の二階建の建築にて(浙江古代文化室はその階下の一隅を占む)階下に